

教授法・FD シリーズ 8(通算 384 回)

2008 年 3 月 28 日(金)

参画型学習環境のツールと実際

# 学生応答システムを用いた 双方向型授業の新展開

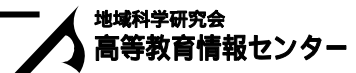
～ 今の講義・クラス運営に限界を感じていませんか～

リモコンシステム“クリッカー” / 能動的学習授業のコツと実際 / 生まれ変わる大規模授業  
〔法政大学〕 e-Learning 環境における双方向オンラインサービス / 情報携帯端末の試行  
学習者が求めるクラスルームの創造ツール ARS の利用方法 / 国内外での活用事例

講師陣

鈴木 久男 氏 / 北海道大学理学研究院准教授  
岩月 正見 氏 / 法政大学デザイン工学部教授、情報科学(IT)研究センター所員  
山川 達也 氏 / KEEPAD JAPAN(株) プレゼンテーションサービス

2008 年 3 月 28 日(金) 日本教育大学院大学 会議室 (東京・麹町)



日時: 2008 年 3 月 28 日(金) 13:00 ~ 17:00  
会場: 日本教育大学院大学 会議室 (東京・麹町)  
千代田区二番町 8-2 電話 03-3237-1811  
アクセス: 地下鉄有楽町線「麹町駅」5 番出口より 2 分  
JR「市ヶ谷駅」「四ツ谷駅」より徒歩 6 分  
<http://www.kyoiku-u.jp/shisetsu/access01.htm>  
会場の地図及び受講証を送付しますので  
必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 36,000 円(消費税込)  
B. メディア参加(資料・カセットテープ送付) 37,000 円(送料、消費税込)  
参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の  
都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
FAX または E-mail にてご送付ください。  
支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
郵便振替 00110-8-81660  
全ての口座名 <(株)地域科学研究会>  
ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
代えさせていただきます。  
申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター  
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
Tel: 03(3234)1231 / Fax: 03(3234)4993  
E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)  
URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

教授法・FD シリーズ 8  
学生応答システムを用いた双方向型授業の新展開

2008 年 月 日  
当日参加      メディア参加

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔請求書 見積書〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 ~ 14:20	<p>リモコン学生応答システム“クリッカー”による能動的学習授業 ~クリッカーで生まれ変わる大規模授業~</p> <p style="text-align: right;">北海道大学 鈴木 久男</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. クリッカーを体験しよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) クリッカーによる授業体験</li> <li>(2) 海外で急速に普及するクリッカー</li> <li>(3) クリッカー普及、その理由は？</li> </ul> </li> <li>2. あなたは今の講義に限界を感じていますか？             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 講義に限界？ 大規模授業 vs. 小規模授業：それぞれの長所と短所</li> <li>(2) クリッカーの使用法</li> <li>(3) クリッカーによって生まれ変わる大規模授業</li> </ul> </li> <li>3. クリッカー運用のこつ             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業でのクリッカー使用のこつと北大での使用データ</li> <li>(2) クイズの種類と作成法は？</li> <li>(3) クリッカーの欠点とその解消法は？</li> </ul> </li> <li>4. 分野を選ばず活用できるクリッカー             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 北大の物理教育での活用</li> <li>(2) 海外での経済学、Law school など文系分野での事例</li> <li>(3) 海外での医療、保健分野など理系分野での事例およびオリエンテーションなどでの活用</li> </ul> </li> </ol>
14:30 ~ 15:20	<p>法政大学の e-Learning 環境における双方向オンラインサービスの試み ~パーソナルコミュニケーターを用いた双方向型授業~</p> <p style="text-align: right;">法政大学 岩月 正見</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法政大学のネットワーク環境             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 外部接続とキャンパス間ネットワーク</li> <li>(2) ネットワークの特徴</li> <li>(3) 遠隔講義・会議システム</li> </ul> </li> <li>2. これまでの遠隔教育の取り組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 遠隔講義の実施状況</li> <li>(2) 国際遠隔講義の実践</li> <li>(3) コンテンツ集積・ハイブリッドクラスへの展開</li> </ul> </li> <li>3. 学生向け情報携帯端末の可能性             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学生1人1台の情報携帯端末の必要性</li> <li>(2) 学生サービス向け情報携帯端末のデバイス比較</li> <li>(3) ソニー「mylo」によるサービス提供の試み</li> </ul> </li> <li>4. 遠隔授業の新しい試み             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 遠隔学生実験システム</li> <li>(2) 講義コンテンツ自動作成システム</li> <li>(3) 究極の遠隔会議システムを目指して</li> </ul> </li> </ol>
15:30 ~ 16:10	<p>学習者が求めるクラスルームの創造 ~学習効率を向上させる参加型教育ツール~</p> <p style="text-align: right;">KEEPAD JAPAN(株) 山川 達也</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Audience Response System (以下ARS) とは？             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育現場における世界共通の問題</li> <li>(2) ハードウェアとソフトウェアの特徴</li> <li>(3) ARS の必要性</li> </ul> </li> <li>2. ARS の利用方法             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 効果的な集計グラフの作成ヒント</li> <li>(2) 議論・思考を促す上級テクニック</li> <li>(3) データの集計・加工・分析と個人特定方法</li> </ul> </li> <li>3. ARS の国内外での事例と結果             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 海外での事例 普及率、具体例、統計データ</li> <li>(2) 国内での事例 学会セミナー、ワークショップ、特別講義</li> </ul> </li> <li>4. ARS の将来             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ボーダーレスな双方向授業の実現</li> <li>(2) 集合授業で個性を育む</li> <li>(3) ARS は教育の場で革命的ツールになりえるのか？</li> </ul> </li> </ol>
16:20 ~ 17:00	<p>全体質疑とディスカッション ~学生応答システムを用いた双方向型授業の新展開~</p> <p>パネラー 鈴木久男氏 / 岩月正見氏 / 山川達也氏 司 会 青野友太郎 (地域科学研究会 高等教育情報センター)</p>